

「顧客の企業価値を高める」という経営理念の浸透を力に、  
世界をリードする高性能・長寿命の  
振動モーターをつくりだす

株式会社 村上精機工作所

ユーラスバイブレータ



粉体エンジニアリングセンター

振動モーターの代名詞になっている  
「ユーラスバイブレータ」

村上精機工作所の基盤商品は、ミルやフィーダー、研磨機や輸送装置などの粉体機器に組み込まれる「ユーラスバイブレータ」という振動発生装置である。

「揺らす」という日本語が語源になっている同社が商標登録している「ユーラス」は、振動モーターの代名詞にもなっているほどである。創業以来80万台を超える納入実績を有しており、国内シェアはおよそ60%、世界シェアも10%に達している。特に近年は、鉱山の開発が盛んであるオーストラリアやアメリカ、また南アフリカなどからの引き合いが活発であり、ユーラスバイブレータの売り上げは、すでに50パーセント以上が海外となっている。

他社の追随を許さない抜きんでた耐久性能

振動モーターは、モーターの回転軸にアンバランスウェイト(偏心重り)を取り付け、回転させることにより振動を発生させるものである。

同社は、重りの取り付け角度や位相の調整、インバータによる可変速運転、複数の振動発生装置の組み合わせなど、50年にわたるノウハウの蓄積により様々な振動モードを生み出している。

## 企業概要

## DATA

|      |   |
|------|---|
| 企業名  | 株式会社 村上精機工作所  |
| 代表者  | 橋本 尚二   |
| 所在地  | 北九州市八幡西区洞北町1-1  |
| TEL  | 093-601-1037  |
| FAX  | 093-601-1041  |
| 資本金  | 4,000万円   |
| 創業   | 1946年   |
| 従業員数 | 88名   |
| 事業内容 | ユーラスバイブレータ(電動回転式高性能振動発生装置)、各種振動・粉体機器、産業用電磁ブレーキの開発、設計、製造 |
| URL  | http://www.murakami-seiki.co.jp/                        |

またユーラスバイブレータが高く評価されているのは、軸受寿命10,000時間以上に代表される耐久性能である。この高い信頼性は一朝一夕に築かれたものではなく、様々な顧客の粉体処理の課題に対して、「現場で徹底的にお客様の立場に立って考える」をモットーにして、真摯に対応してきた結果である。「こういう環境下で、こういう使い方をして、ここがこういうように壊れた」という現場の色々なトラブルに真剣に向き合い、それを解決する中で培ってきた技術が、軸受やグリス、ボディの構造や巻き線等に技術ノウハウとして詰まっている。

この他社の追随を許さない高い耐久性の評価の表れの一つが、南アフリカでダイヤモンドの採掘船に搭載されている振動篩機に組み込まれたユーラスバイブレータである。こうした船は、いったん出港すると2年ぐらいは寄港しない。そこで高い信頼性を有するユーラスバイブレータがお客様に選ばれているわけである。

お客様の粉体を実機で実験できる  
エンジニアリングセンターを開設

村上精機工作所が振動技術を核に1990年代に本格参入したのが、振動ミルやフィーダー、バレル研磨機や空気輸送装置といった粉体関連機器の分野である。

これら機器の販売に当たっては、「お客様の要望を実機で確認することが重要」との考えから、粉碎・分級・研磨・空気輸送などのテスト機を完備した「粉体エンジニアリングセンター」を1987年に開設した。

ここにお客様が処理したい粉体を実際に持ち込んでもらい、お客様の処理条件に合わせてテストを行う。また各種測定器でチェックしたデータの提供も行っている。お客様にとっては、機器の性能や使い勝手を確認できるとともに、性状に合った最適な処理条件などを確認できる貴重な場となっている。

ここにも、「お客様起点から考える」という同社の精神が光っている。

人を育て、人を大切にする経営

世界をリードする製品を造り続ける村上精機工作所の経営基盤は、毎朝全社員が唱和している経営理念にある。

「顧客の企業価値を高める」と「人材の育成」を両輪と



代表取締役  
橋本 尚二 氏  
三菱自動車エンジン 設計部門に勤務した後、1998年入社。2001年現会長より社長を引き継ぐ。入社以来、人材育成に力を注ぎ、課題図書制度や京セラフィロソフィー学習会等ユニークな教育を実施。全社員に経営指針書を配付し全員参加型の経営を目指す。また海外拡販に積極的に取り組み、自らトップセールスを行い、ユーラスの世界戦略を展開中。

した経営の考え方は社内に浸透し、その成果の一端は整理・整頓が進んだ工場にもうかがうことができる。また同社を訪れる顧客からは、「従業員の気持ちの良い挨拶」に称賛の声が数多く寄せられている。

また「社外でも十分通用する人材を育てたい」「頑張ろうとする人を会社ぐるみで応援する」という橋本社長の言葉にみられるように、同社は「人を育て、人と共に大きく成長・発展していくこと」を基本方針に掲げ、人を大切にする経営を実践している。



若手開発メンバーによるミーティング

マーケティング  
専門家の目

ユーラスバイブレータが圧倒的No.1を獲得できたのは、「徹底的にお客様の立場に立って考える」をモットーに、お客様の現場で発生したトラブルを真摯に解決してきた努力のたまものである。そして、この「顧客の企業価値を高める」ことに全社一丸となって取り組む社風は、「人を育てる」ことを基本に置いた経営にその根っこがあるものと推察される。